

ホームページアドレス
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/
☎=問い合わせ先
内=内線番号
◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎21111/Fax272577
◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎22111/Fax22234
◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎462111/Fax462409
◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎342111/Fax343584

案内

こみねつと(市循環バス) 車内広告募集

- 掲載車両 南循環(ノンス トップバス)
- 枠数・規格 12か所/縦297mm×横420mm(A3サイズ)
- 掲載料 1,000円(1か月)※制作費は申込者負担
- 掲載期間 10月〜平成25年9月(12か月間)
- 募集開始日 9月3日(月)から ※募集枠に達し次第締め切ります。なお、掲載位置の

敬老会

指定は受付順となります。
●本庁舎地域支援課 内2257

開催日

10月10日(水)
●会場・時間 ▽白河地域
市民会館(手代町) / 午後1時30分から ▽表郷地域 表郷体育館(表郷番沢) / 午前10時から ▽大信地域 大信農村環境改善センター(大信町屋) / 午前10時から ▽東地域 東文化センター(東釜子) / 午前10時から

対象

75歳以上(昭和12年9月1日までに生まれた方)

贈呈品

祝金2,000円(商品券) ※来場された方には長寿ようかんを渡します。

本庁舎高齢福祉課

内2722 / 各庁舎市民福祉課 表郷☎22114 大信☎462114 東☎342116

国民健康保険被保険者証の個人カード化

10月1日から、国民健康保険被保険者証が個人ごとにかード化されます。この被保険者証は、9月下旬に世帯主に送付します。9月末までは現在使用しているものを使用してください。

遠隔地の被保険者証

被保険者世帯の誰かが遠隔地に移る場合に交付していた「遠隔地被保険者証」は、被保険者証の個人カード化で不要になります。なお、修学のため市外に住む学生で、学費や生活費の仕送りを受けている場合に被保険者証を交付する「マル学」は引き続き届け出が必要で、届出の際には、該当者の被保険者証と在学証明書(今年の4月以降に申請し、すでに添付した方以外)を添付してください。

その他の届け出

次のような場合には届け出が必要です。

	届出が必要な場合	持参するもの
国保加入	ほかの市町村から転入したとき	
	ほかの健康保険をやめるとき	健保をやめた証明書
	子どもが生まれたとき	保険証
国保脱退	ほかの市町村へ転出したとき	保険証
	ほかの健康保険に加入したとき	国保と健保の保険証
その他	加入者が死亡したとき	保険証
	市内の住所が変わったとき	保険証
	世帯主が変わったとき	保険証
	世帯を分けたり一緒になったとき	保険証
	保険証を紛失したとき	本人を証明するもの
	退職者医療制度に該当するとき	保険証・年金証書

※次のものをご希望の方は、お問い合わせください。
●「保険証」と記載された点字シール
●保険証の裏面にある臓器提供意思表示欄の目隠しシール
●本庁舎国保年金課 内2172

小峰城跡見学会

- 日時 9月9日(日) / 午前10時〜正午(雨天決行)
- 会場 小峰城跡本丸(郭内) ※集合は城山公園芝生広場
- 対象 どなたでも参加可
- 歴史民俗資料館☎2310

わいわい広場 屋内砂場オープン

白河市屋内遊具施設「わいわい広場」に屋内砂場がオープンしました。

●会場 五箇市民センター内(田島) ※水を使った砂遊びが可能です。詳しくはお問い合わせください。
●本庁舎こども課 内2731

白河英会話教室

- 日時 10月10日〜12月19日 毎週水曜日 / 午後7時〜9時
- 会場 市役所本庁舎地下第1・第2会議室
- 受講料 4,000円
- 対象 高校生以上40人(先

着順)
●申込期間 9月6日(木)〜28日(金)
●申し込み・問い合わせ先 白河ユネスコ協会事務局(本庁舎生涯学習スポーツ課内) 内2382

小峰城大花火写真コンテスト 市民投票

展示作品の中から、皆さんの投票により「市民賞」を決定します。投票された方には抽選で景品が当たります。

●投票期間 9月21日(金)〜10月8日(祝)
●展示場所 市立図書館1階ロビー(道場小路)
●NPO法人 カルチャーネットワーク☎25271

農業委員会委員一般選挙

任期満了(平成24年11月6日)による白河市農業委員会委員一般選挙を次のとおり実施します。

《一般選挙》
●投票日 10月28日(日)
●告示日 10月21日(日)

●選挙される委員の定数
▽第1選挙区(白河地域) 12人
▽第2選挙区(表郷地域) 6人
▽第3選挙区(大信地域) 6人
▽第4選挙区(東地域) 6人

《立候補予定者説明会》
●日時 9月25日(火) / 午後2時から

●会場 市役所本庁舎正庁(5階) ※出席できる人数は、立候補予定者1人につき2人までです。当日、立候補届出用紙などの関係書類を交付します。

●本庁舎選挙管理委員会 内2510

市職員採用試験

- 《①大学卒程度 後期試験》
- 職種・採用予定人員 行政事務 若干名、土木 若干名
- 資格 昭和53年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた方(学歴不問)。ただし、前期試験を受験していない方に限る。
- 試験方法 ▽第一次試験 教養試験・専門試験・適性検査 ▽第二次試験 口述試験・身体検査・作文試験
- 第一次試験日・会場・申込受付期限 10月28日(日) / 市産業プラザ人材育成センター(中田) / 9月28日(金)まで(申込用紙は本庁舎総務課で配付しています)
- 《②民間企業等職務経験者 後期試験》
- 職種・採用予定人員 行政事務 若干名
- 資格 昭和43年4月2日以降に生まれた方で、平成24年3月末日現在において民間企業等での正職員としての職務経験(自営業者、団体職員、公務員としての職務経験を含む)を5年以上有する方(学歴不問)。ただし、前期試験を受験していない方に限る。
- 試験方法 ▽第一次試験 教養試験・適性検査 ▽第二次試験 口述試験・身体検査・作文試験
- 第一次試験日・会場・申込受付期限 ①大学卒程度 後期試験と同じ
- 《③学芸員》
- 採用予定人員 1人
- 資格 昭和53年4月2日以降に生まれた方で、博物館法による学芸員の資格を有しており、次のいずれかの要件に該当する方(1)大学において美術史を専攻し卒業した方で、平成24年3月末日現在において学芸員としての職務経験(正職員の期間に限る)を2年以上有する方(2)大学および大学院において美術史を専攻し、大学院を修了した方または平成25年3月31日までに修了見込みの方
- 試験方法 ▽第一次試験 教養試験・専門試験・適性検査 ▽第二次試験 口述試験・身体検査・作文試験
- 第一次試験日・会場・申込受付期間 11月18日(日) / 市役所本庁舎 / 9月14日(金)〜10月12日(金)(申込用紙は9月7日(金)から本庁舎総務課で配付します) ※郵送での申し込みは、当日消印有効です。 ※第二次試験は、第一次試験の合格者を対象に実施します(日時および場所は別途通知します)。

●本庁舎総務課 内2314

案内

ハンディキャップ サービス研修会

- 日時 10月6日(土)／午後1時から(参加無料)
 - 会場 市立図書館地域交流会議室(道場小路)
 - 対象 図書館でのハンディキャップサービス・対面朗読などボランティア活動に興味がある方
 - 定員 30人程度(先着順)
 - 申込期限 10月5日(金)まで
- ※来館または電話でお申し込みください。
- 申し込み・問い合わせ先 市立図書館 ☎2332550

痛風予防講演会

市では、健診の結果、高尿酸値だった方や痛風予防に興味関心がある方を対象に、医師の講演会を開催します。

- 日時 10月10日(水)／午後1時30分から(参加無料)
- 会場 中央保健センター(北中川原)
- 講師 白河病院内科部長 和久昌幸医師
- 申込期限 9月28日(金)まで
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎健康増進課 ☎272112

里親入門講座「里親を知っていますか？」

- 日時 10月5日(金)／午後1時30分～3時(参加無料)
- 会場 郡山市ニコニコこども館(郡山市桑野)
- 内容 地域で出来る里親としての子育て支援について
- 定員 30人
- 申込期限 9月28日(金)まで
- 申し込み・問い合わせ先 県中児童相談所 ☎024193510611

しらかわものづくり講習会

- 期間・会場 12月5日(水)まで／市産業プラザ人材育成センター(中田)
 - 内容 一般講座(8講座) 成長産業講座(8講座)
 - 対象 県南地域の製造業従事者
- ※詳しくはお問い合わせください。

ふるさと白河表郷まつり

- 日時 9月22日(祝)／午前11時～午後6時 ※雨天決行
- 会場 表郷総合運動公園(表郷番沢)
- 表郷庁舎事業課 ☎24785

人工内耳講演会・相談会

- 日時 9月9日(日)／午後1時～4時(参加無料)
- 会場 マイタウン白河(本町)

- 内容 医師による講演会、相談会(人工内耳、補聴器、難聴・中途失聴)
- 本庁舎社会福祉課 内2714

まちかど伝言板

- 日時 9月23日(日)／午前11時～午後4時(入場無料)
- 会場 市民会館(手代町)
- 内容 手作り雑貨等の販売、各種セラピー・マッサージ
- 同実行委員会 渡辺 ☎0901779515176

子育てサロン「こころシルバーちゃん」開所式

- 日時・会場 9月12日(水)／午前10時から／結城6612
- 利用時間・料金 午前9時30分～午後3時30分(平日のみ)／保護者同伴は1か月100円、一時預かりは1時間850円
- 公益社団法人 白河・西郷広域シルバー人材センター ☎229128

秋の全国交通安全運動

- 9月21日(金)～30日(日)
- 《運動のスローガン》夕暮れは 早めのライトが 合言葉
- 《運動の基本》子どもと高齢者の交通事故防止
- 《運動の重点》①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止 ②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 ③飲酒運転の根絶
- 本庁舎生活環境課 内2162



『カランコロンと歩く人』 白河市長 鈴木 和夫

暑い夏でした。史上最高の36度を記録するなど、30度を超える日が続いた。白河にも温暖化の影響が出てきたようです。ロンドン五輪が、多くの感動とともに幕を閉じた。日本人の活躍に、深夜までテレビの前で応援。眠い目をこすり仕事につく日々。震災後、心の晴れない中、久し振りに夢中になることができた。

開会式では、私達の世代には嬉しい趣向が凝らされていた。美しい田園風景が映し出され、「007」の音楽にのり、ジェームズ・ボンドがパラシュートで飛び降りる。結びに、ポール・マッカートニーが現われ、ビートルズの「ヘイ・ジュード」が流れた。悩み苦しむ人を励ますこの曲が、式典で歌われた意味は深い。「英国最大の輸出品はビートルズ」と言われるが、世界最高のスポーツイベントにふさわしい、心憎い演出だった。

秋がコスモスとともにしのび寄ってきた。淡いピンクの優しい風情。草原一面に広がるのもよし。道の端にはかなげに揺れるのも、線路沿いにひそやかに咲くのもよし。山口百恵の秋桜。「淡紅の秋桜が秋の日の 何気ない陽溜まりに揺れている」。狩人のコスモス街道。「右は越後へ行く北の道 左は木曾まで行く中山道 続いているコスモスの道が」。哀愁・恋・別れをコスモスが演出し、詩になる。

この季節は旅心を誘う。名もないまち

の小さな駅に降り、秋風に吹かれ、そぞろ歩く。コスモスがさりげなく出迎え、旅情を満たしてくれる。

突然、山下清を思い出す。お馴染みの浴衣にリュック、下駄でコスモスの揺れる田舎道や線路を歩く。今年生誕90年。戦前から戦後の貧しい時代、日本列島を北へ南へ。三度の飯を乞いながら、途方もない距離を歩き回った。鉄道・花火・温泉が大好き。旅先での風景を頭に刻み、戻ってから吐き出すように絵に仕上げ、日記にあらわした。「日本のゴッホ」「裸の大将」とも呼ばれ、映画やドラマ化された。

清は知的障がいを持ち、自立施設の八幡学園に入る。「踏むな 育てよ 水そそげ」と個性を尊重し、伸び伸び育てる教育。貼絵の才能を見抜き、愛情と細やかな心配りで接した学園の存在は大きい。

学園はオアシス。でも、外の世界をもっと見たい。「片雲の風に誘われて 漂泊の思いやまず」か、学園を抜け出しては放浪の旅を繰り返す。放浪といっても行き先は決める。金がないから歩く。目的地へ確実に、しかも最短で行くには線路がいいと考える。駅なら夜露をしのげる。水もトイレもある。顔を洗い洗濯もできる。清の放浪は、鉄道と駅に支えられた。

よく歩いたのは近くを走る常磐線。柏・我孫子・取手はなじみのまち。さらに北上し、いわきから郡山へ。「郡山は大きな町だから キャンデーが沢山あるのだから 三軒目のキャンデー屋に貫いていって やっとキャンデーを貰えた」と日記に印す。東北線を南下し、大宮から高崎・草津へ。名湯で身体を休める。困ったのはトンネル。暗く淋しいうえに列車がきたら

大変。頭を働かせ、列車の通った直後にぐるぐる。トンネルの印象は強かったらしい。

宿は、日数は、経費は。計画を立てないと不安な私達には、おとぎ話のようだ。旅をしながら、三食にあずかりお金を稼ぐ。歩くを基本に、汽車にも乗れた。こんなことができたのは、日本人に、門付け者へ一汁一飯をほどこす心が息づいていたから。巡礼者には報謝、伊勢参詣者には施行、貧窮者には喜捨。清の放浪は、日本の豊かな伝統的生活文化に支えられていた。といっても、そう簡単に情を受けられる訳ではない。時に天涯孤独と、偽りの身の上話で哀れを誘い、警察の不審尋問にもこの手を使って事なきをえたらしい。旅を続け、身を守るためのかわい嘘。

はたして今、足の向くままの無銭旅行ができるでしょうか。気味が悪いとインターネット越しに追い返される。駅にも泊まれない。下手をすれば、ホームレス狩りに遭う。当時とは、比較にならないほど物的豊かさを得たものの、気ぜわしくとげとげしい今の社会では難しい。

四国遍路は、今なお健在で、多くの悩める人が苦行の道を行く。前首相も責任を感じてかどうか、菅笠と金剛杖に身をやつした。誰もが、窮屈な社会に身も心も縮まってる。その点、山下清は、ずっこけながら、丸裸の心で国中をたっぷり時間をかけ遍路してのけた。ちまちまとした世間の常識を飛び越え、悠然と、カランコロンと歩いた人でした。

「いい所へ行こうとしなければ しぜん いい所へぶつかる いい所へ行こうとするから いい所へぶつからないんだろ う」。放浪日記より。